

県内自治体病院勤務医確保状況

○常勤医師数は前年同期比19人増の548人

青森県自治体病院開設者協議会では、県内自治体病院20施設（青森県立中央病院を除く）の令和7年5月1日現在における常勤医師等の状況をまとめた。（表1）

常勤医師数は、前年同期に比べ19人増の548人と2年連続の増加となっており、その内訳は、研修医（初期、専攻医）を除く常勤医師が9人減の397人、研修医が28人増の151人となっている。

表1 自治体病院医師確保状況年度別推移（令和3年度～令和7年度）

区分 年月	現 員						必 要 数				過 不 足 数			
	常 勤 (うち研修医) ①	非 常 勤		合 計 ①+②	対前年比	対3年5月比	医 療 法 上		施 設 運 営 上		医 療 法 上		施 設 運 営 上	
		人 員 ②	左の 常勤換算 ③				人 員 ④	常 勤 ⑤	非 常 勤	合 計	人 員 ①+③-④	充 足 率 (①+③)÷④	人 員 ①-⑤	充 足 率 ①÷⑤
3年5月	人 532 (87) (3) (26)	人 820	人 72.575	人 1,352	% —	% 100.0	人 320.344	人 751	人 229	人 980	人 284.231	% 188.7	人 △ 219	% (138.0) 70.8
4年5月	人 523 (89) (33)	人 776	人 64.564	人 1,299	(96.1) 98.3	(96.1) 98.3	人 314.031	人 735	人 203	人 938	人 273.533	% 187.1	人 △ 212	(138.5) 71.2
5年5月	人 512 (85) (22)	人 801	人 68.655	人 1,313	(101.1) 97.9	(97.1) 96.2	人 311.596	人 713	人 236	人 949	人 269.059	% 186.3	人 △ 201	(138.4) 71.8
6年5月	人 529 (86) (37)	人 849	人 77.113	人 1,378	(105.0) 103.3	(101.9) 99.4	人 307.858	人 737	人 251	人 988	人 298.255	% 196.9	人 △ 208	(139.5) 71.8
7年5月	人 548 (99) (52)	人 894	人 75.996	人 1,442	(104.6) 103.6	(106.7) 103.0	人 310.194	人 745	人 247	人 992	人 313.802	% 201.2	人 △ 197	(145.4) 73.6

(注) 1. 「4年5月」以降は弘前市立病院（令和4年3月31日閉院）、「6年5月」以降は町立大鰐病院（令和5年10月1日診療所化）を除く数値で調製した。
2. 常勤の（ ）内数値は研修医の再掲である。
3. 対前年比、対3年5月比、充足率は、常勤を対象とした指数である。
4. 対前年比、対3年5月比、充足率の（ ）内数値は、非常勤を含んだものである。
5. 歯科医師を除いた数値である。

○施設運営上充足率は73.6%と依然として低迷

医療法上の医師充足率は201.2%で、平成17年から21年連続で100%を超え、今回初めて200%を上回った。

一方、実際に施設を運営するうえで必要な医師の充足率は73.6%にとどまっており、医療法上の充足率とは大きな乖離がある。

また、常勤医師数548人に対し、施設運営上必要とする常勤医師数は745人と197人不足しており、若干の改善傾向は見られるものの、依然として人員不足が続いていることから、県と弘前大学、県立中央病院の三者協定に基づく医師派遣、配置調整が急がれる。

○診療科偏在にも改善は見られず大きく乖離

診療科別の充足率は、外科が80％台、内科、小児科、麻酔科が70％台である一方、神経精神科、放射線科、皮膚科においては50％以下となっており、診療科偏在が顕著で、とりわけ充足率が最も低い放射線科においては36.8％と、極めて深刻な状況にある。

なお、基本の診療科である内科、外科でさえも不足が生じていることから、自治体診療施設が地域医療を支えている本県の実態に鑑みると危機的状況にあると言える。（表2）

表2 診療科別総括

区 分 科 名	現 員			必 要 数（ 施 設 運 営 上 ）			過 不 足 数	
	常 勤 ①	非 常 勤	合 計	常 勤 ②	非 常 勤	合 計	人 員 ①－②	充 足 率 ①÷②
内 科	人 127	人 205	人 332	人 172	人 70	人 242	人 △ 45	% 73.8 (73.4)
外 科	77	85	162	93	44	137	△ 16	82.8 (80.9)
産 婦 人 科 (婦人科含む)	22	63	85	36	11	47	△ 14	61.1 (59.4)
小 児 科	28	78	106	38	23	61	△ 10	73.7 (76.3)
整 形 外 科	33	57	90	48	15	63	△ 15	68.8 (80.4)
泌 尿 器 科	16	18	34	25	5	30	△ 9	64.0 (69.2)
眼 科	8	30	38	12	13	25	△ 4	66.7 (66.7)
耳 鼻 咽 喉 科	10	32	42	17	15	32	△ 7	58.8 (64.7)
神 経 精 神 科	8	17	25	16	3	19	△ 8	50.0 (50.0)
放 射 線 科	7	19	26	19	1	20	△ 12	36.8 (36.8)
脳 神 経 外 科	13	32	45	23	6	29	△ 10	56.5 (66.7)
皮 膚 科	3	89	92	8	9	17	△ 5	37.5 (50.0)
麻 酔 科	15	68	83	21	16	37	△ 6	71.4 (68.2)
そ の 他	181	101	282	217	16	233	△ 36	83.4 (73.3)
計	548	894	1,442	745	247	992	△ 197	73.6 (71.8)

- (注) 1. その他には、心臓血管外科、リハビリテーション科、臨床病理科、病理、病理診断科、形成外科、初期研修医、臨床検査科、検査科、専攻医、栄養管理科、緩和医療科、救命救急センター、救急科、救急診療科、糖尿病内分泌内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、リウマチ科、総合診療科、へき地医療センター、健診・保健科、健診センター、脊椎脊髄・神経外科、メンタルヘルス科を含む。
2. 充足率の()内数値は、前年度分である。